

ONTAP 9.10.1主要新機能 Anti-Ransomware

ONTAP内蔵のランサムウェア防御機能

- パターン(振る舞い)やファイルのエントロピー(複雑性の概念)を用い、ML(機械学習)によってランサムウェアを検出

※例えば既存パターンから逸脱した急激な書き換えなど

- 暗号化の疑いを検出し次第、Snapshotの自動取得や管理者への通知が可能

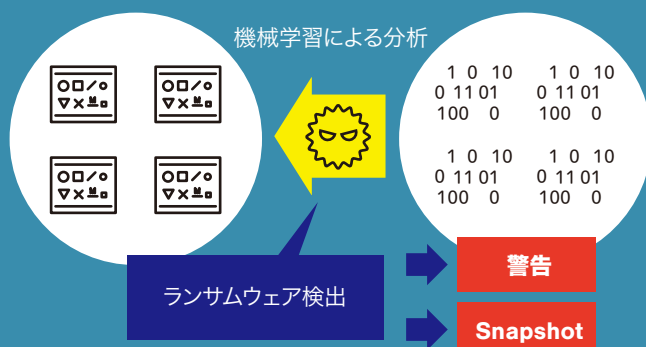
- ▶ 早期にSnapshotを取得することで、被害を最小限に抑えることが可能
- ▶ 「暗号化に気が付かなかった」「RPOが古くて大量のデータの巻き戻りが…」そんな心配も不要に

- Cloud SecureやFPolicyとの併存が可能

- 要ライセンス

NASはランサムウェア対策の最終防衛ライン!

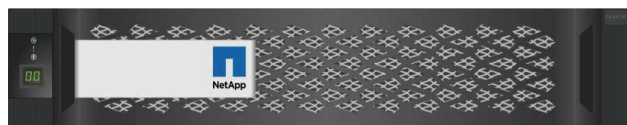
- 要ライセンス



ターゲット

- すべてのお客様(特に金融、ヘルスケア、官公庁)
- クラウドベースのランサムウェア製品が利用できないお客様(セキュリティ関係、政府関係など)

対応機種



FASシリーズ



AFFシリーズ

※ONTAP 9.10.1以降に対応。

※対象はNFSまたはSMB(あるいはその両方)が有効になっているStorage VM。

※必要なライセンスは、「Security and Compliance Bundle」に含まれます。

ML(機械学習)ベースの検知

- まず学習(Learning)モードで通常のアクセスパターンを学習
(最小7日間、推奨30日間 ※誤検知を防ぐため30日推奨)
- 学習後、有効(Enable)状態へ切替、検出開始

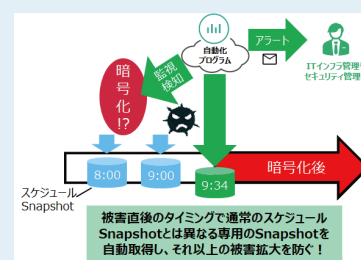
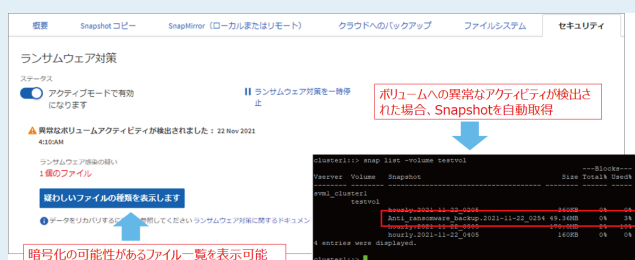
攻撃検知

- Snapshotを自動的に取得
- System Manager、Unified Manager、EMS、CLIでのアラート/レポート確認が可能
- 管理者が対象ファイルを確認し、Snapshotをリストアするか、無視するか判断可能

性能影響

- データの特性(圧縮可能なデータか)、read/write比率によって異なる
- 圧縮不可能 & write 100%でもオーバーヘッドは9%以下(参考)

検出時のイメージ・
簡易ワークフロー



ONTAPに適用可能なその他のランサムウェア対策機能

暗号化を未然に防ぐ仕組み: ONTAP OS、FPolicy、SnapLock ...など
暗号化へのその他対処法: 1年単位でご利用可能なSaaS製品である
Cloud Insights(Cloud Secure)



**暗号化対策の第二の選択肢であるCloud Secureは
100TiBでも月額数万円!?**
**監視ソリューションとして容量や性能の可視化・
トラブルシュートまでできておススメです!**

見積・注文のご依頼は御社担当営業までご連絡ください